

# 大阪北港マリナーナオープン 2026-SUP 選手権

## 競技説明書

### 1. 適用規則

本大会は SUPA レース規約、及び本競技説明書を適用する。異なった解釈が生まれた場合は本競技説明書を優先する。なお、ブリーフィングにて指示された内容は最優先される規則となる。

### 2. 責任の所在

- ① 大会主催者から指名されたレース委員会は人員及び道具に対するすべての損害の責任を負わない。参加選手は自己の責任において参加申し込みを行い、併せて保険の付加を行う。
- ② 一切の責任は、選手自身に帰属する。スタートするか否か、或いは競技を継続するか否かを決める責任は選手各自で負う。
- ③ レスキューが必要となった選手に対して、ボード等を放棄させる場合がある。これに同意できない選手は大会に出場する資格を失う。

### 3. EQUIPMENT とクラス別け

#### 1) エキップメント

- ① ボードはエントリーするクラスの規定に合ったものを使用すること。  
※事前のクラフト検査(Board Control)は行わないが、抜きうちにて検査を実施する場合がある。
- ② 浮力体及びリーシュコードの着用を義務付ける。  
その他の装備や着用品については、レースディレクターの指示に従うこと。

#### 2) ボード種別とクラス

- ① レース 9km エリートクラス 14.0ft 以下
- ② レース 6km オープンクラス
  - A) レースボード 14.0ft クラス
  - B) レースボード 12.6ft クラス
  - C) インフレーターブル 14.0ft クラス
  - D) インフレーターブル 12.6ft クラス
- ③ レース 2km ファンクラス
  - A) 12.6ft 以下(ハード・インフレーターブルを問わない)

※コンディションにより、距離を短縮する場合もある。

### 4. 大会主催者およびレース委員会の権限

大会主催者は本大会の開催にあたり「選手・大会関係者及び一般住民」への安全を最優先に配慮する。また大会主催者およびレース委員会は、大会運営にあたり下記の権限を持つ。

- 1) 大会当日の気象、海象等により、十分な安全確保が出来ないと判断した場合はレーススタート前、あるいはレース中においても、競技内容の変更または中止を決定する。
- 2) ルールに違反した選手に対して、失格やペナルティーを決定する。
- 3) 選手の疲労、怪我、事故、技術の未熟、等により、レースの継続や運営に影響を与えると判断された場合、選手に対してリタイヤの指示や強制レスキューを行える。
- 4) 選手の責任・安全管理義務
  - ① 適用規則、海上(水上)に於ける各種法令、大会関係者の発する案内、指示および注意・警告・命令を厳守しなければならない。
  - ② 本大会が海上・施設・自然環境を利用して開催されていることをよく理解し、安全を確保できる注意を払いながら競技を遂行しなければならない。また様々な要件により危険を察知した場合、安全を最優先した回避行動を取らなければならない。
  - ③ 自己の責任において体調を維持し、安全管理を怠らず競技を行なわなければならない。
  - ④ 危険な状態にある他の選手または人員等に対して、可能な限りの援助を行わなければならない
  - ⑤ 良識あるスポーツマンとしてフェアプレイの精神を持って行動することを要求され、危険行為や大会運営に支障が起るような言動や行動行ってはならない。大会の名誉及び品位を著しく損なうような

行為や言動を行ったと判断された場合は、本大会での出場を停止し、以降の関係団体が関係する大会への参加停止や罰金などのペナルティーが与えられる。

- ⑥ レース中に援助を必要とする場合は運営の船舶等に向かって判るように「両手を頭の上で大きく振る、または頭の上でパドルを大きく振り」救援を求めなければならない。
- ⑦ 環境におよぼすいかなる悪影響も最小限にしなければならない。

#### 5) 競技の中止

- ① 自ら棄権する選手は大会関係者にその旨を知らせ、速やかに競技コースから退去しなければならない。
- ② 大会主催者、大会関係者運営委員から競技の中止を命じられた選手は、速やかに指示に従い競技コースから退去しなければならない。
- ③ 主催者またはレースディレクターが競技の中止を決定した場合は、レースオフィシャルより通知されるので、選手は速やかにその指示に従わなければならない。

### 5. レースの内容

#### 1) スタート

- ① 各レースのスタートライン及びスタート方法は、当日のブリーフィング及び公式掲示板にて掲示される。
- ② スタート方法の最終確定は大会主催者またはレースディレクターがレース当日に行う。当日の気象および海象の状況を確認した上で、ブリーフィング時に説明する。
- ③ 選手は各自の責任において自分のスタート位置を把握しなければならない。
- ④ 選手はスタートの3分前までに指示された場所にボードを置き、隣り合う選手の妨げにならないようお互いに配慮しなければならない。
- ⑤ スタートの合図は旗とホーンによって行う。
- ⑥ 選手は、スタート合図が示されるまでは、身体、ボード、パドル等競技で使用する物のいずれもスタートラインより先のコース上に出てはならない。
- ⑦ 各レースにつき、2回フライングした選手は失格となる。またスタートホーンの2秒以上前にスタートした場合も失格となる。
- ⑧ スタートの合図及び手順はブリーフィング時にて指示される。

#### 2) スタートの不成立

- ① レースに参加しなかった選手はDNCと記録される。
- ② スタート時刻に3分以上遅れた選手はその時点で競技に参加する資格を失い、そのレースに参加できない(DNSと記録される)。

#### 3) フライングとリスタート

- ① フライングをした選手は音声にてビブス番号が呼ばれ、フィニッシュタイムに1分が加算される。これにより順位が変動する場合は正当に修正される。
- ② 大勢の選手がフライングをした、または外部からの妨害、その他の不測の事態が起こった時には、スターターは反復音を鳴らして、全ての選手を呼び戻し再スタートが行われる。
- ③ スターターは全ての選手がスタートラインに並んだら、新たにスタートのシーケンスを開始する。

#### 4) フィニッシュ

- ① 各レースのフィニッシュラインは、ブリーフィングにて指示される。
- ② 陸上でゴールの場合は、パドルを持った状態でフィニッシュラインを越えたときフィニッシュであり、パドルを保持していない場合にはフィニッシュしたものとみなさない。
- ③ 海上でゴールの場合は、決められたフィニッシュラインをボードの先端が横切った時点でフィニッシュとする。

#### 5) ドラフティング

- ① ドラフティングは同ボードクラス、同性のみに許可する。
- ② 選手は、レースコース上で他のクラスの選手や船舶(監視船、ジェットなど)の後ろ、もしくは横1メートル以内に10秒以上いるとドラフティング違反とされる。

#### 6) 5ストローク

選手が立ちあがらずに(膝立ち等)5回以上漕ぐことは、違反とされる。

#### 7) 先行優先

コース上にて選手同士が「行き交う」「交差する」等の場合は、先行している選手に優先権がある。後続の選手は先行している選手を避けなければならない。

## 8) レースコース

使用するコースと距離及びマークブイの形状は、レースディレクターより当日のブリーフィング時に発表される。

## 9) コースの漕走

スタートからフィニッシュするまでの、ボードの航跡を示す糸をピンと張った場合、次のようになっていなければならない。

- ① それぞれのマークを定められた側、および正しい順序で通過。
- ② それぞれの回航マークに触れること。
- ③ ゲートマークの場合は、その前のマークの方向から通過。

※フィニッシュしていない場合に限り、この規則に従うために誤りを正すことができる。

## 10) マーク

① マークとは、定められた側で通過するように指示されている物体、およびレース委員会にて指定された船舶で、そこからスタートラインまたはフィニッシュラインが伸びている航行可能な水面に囲まれているもの。

- ② 選手はターンの際にマークに接触してもよい。
- ③ 選手がマークを誤った方向から回航し、正しく修正を行わないまま通過した場合は失格となる。

## 11) 信号(フラッグ)

各旗は次の意味を持つ。

- ① 赤 旗---<スタートの位置に付き待機せよ>  
スタート後の掲揚<レースは中止された、速やかにビーチに戻れ(連続した音響と共に掲揚)>
- ② 黄旗---<レースは間もなくスタートされる(短音 1 回と共に掲揚)>  
スタート後の掲揚<危険なので注意せよ(音響数回と共に掲揚)>
- ③ 青旗---<スタート(長音 1 回)>

## 12) 失格

- ① 不適切な方法で勝とうとする選手、またはルールに従わない選手は失格にする場合がある。
- ② 大会関係者や、他の選手、スポンサー、観客に対し、過度に攻撃的な言動を行う選手は失格にする場合がある。
- ③ 選手はレース中に外部からの援助を受けると失格となる。

## 13) タイムリミット

各クラスともトップフィニッシュした選手から20分以内とし、それ以降の選手はDNFと記録される。

## 14) プロテスト(抗議および救済要求)

- ① プロテストは該当の選手のみが行える。
- ② プロテストは各レース終了後 20 分以内に大会本部にて申告を行い、大会関係者の聴取のもとプロテスト(抗議)供託金 5,000 円を添えて、文章にて提出しなければならない。この供託金はプロテスト(抗議)が認められた場合には払い戻される。
- ③ プロテストは他の選手、またはレースオフィシャルに対して行うことができる。
- ④ すべてのプロテストには証拠(写真、映像等)、第三者による証言が必要である。
- ⑤ プロテストの結果は大会主催者により判断される。

## 15) 記録

成績に記載された下記記録は、それぞれ次の意味を持つ。

- \* DNC: レースに参加しなかった (Did Not Competition)
- \* DNS: スタートできなかった (Did Not Start)
- \* OCS: スタート時にフライングをした (On the Course Side)
- \* DNF: 時間内にフィニッシュできなかった (Did Not Finish)
- \* RET: リタイヤした (Retire, Resign)
- \* DSQ: 失格 (Disqualified)
- \* RDG: 救済が与えられた (Redness Given)

以上

Race Director